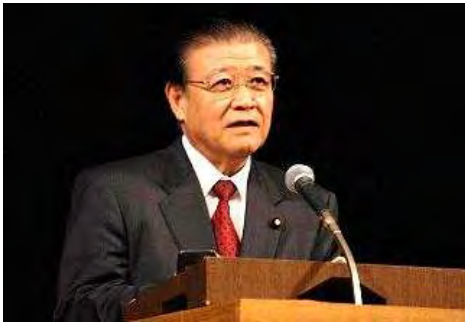


“北海道の議席奪還でこそ議席倍増を” 札幌、旭川、北見の演説会に各界から激励のメッセージ



市田書記局長、小池政策委員長、紙智子参議の中央幹部を迎え、10月27日旭川、28日北見、29日札幌と連続開かれた演説会。北見会場では訓子府町長が登壇して激励の挨拶、美幌町長、オホーツクウッドピア理事長からメッセージが寄せられました。旭川会場には東神楽町長が参加し、三浦綾子記念文学館館長と上砂川町長からメッセージが、また札幌会場には、蘭越町長、ニセコ町長、北海道商店街振興組合連合会理事長、北海道地域職業訓練センター運営協議会会長からメッセージが寄せられ、弁士の“北海道で議席奪還して議席倍増を”の熱い訴えとあわせ、多くの参加者は確信を持つことができました。



旭川会場を埋めた参加者に語る市田書記局長



熱く訴えるはたやま和也候補

北海道でどうしても日本共産党の議席が必要——その3つのわけ

はたやま和也候補の演説から

一つは、北海道のTPP反対の道民の意思を証明する議席が必要だということです。いま北海道農業で大事なことはTPP参加ではなく、農家経営を安定させ、きちんと後継ぎができるよう政治が応援することです。集会やシンポジウムなど北海道農業の発展をいっしょに考えてきた日本共産党を伸ばして、北海道農業の未来を拓こうではありませんか。

二つ目に、北海道で広がる原発ゼロの声を受けとめ、必ず実現できる議席が日本共産党だということです。北電で「やらせ」があったと内部資料が寄せられたのは他の党ではなく日本共産党のもとです。どんな圧力にも負けず、原発マネーにもまみれていない政党だから関係者からの信頼が寄せられました。北海道は、もっと自然エネルギーを広げられます。そうすれば地元の仕事が増え経済もよくなる道もみえてきます。国の原発関連予算4000億円を、自然エネルギー開発に切り替えようというのが日本共産党の提案です。

三つは、道民の雇用と暮らしを守っていけるのが日本共産党の議席だということです。いま高齢者が高齢者を介護する方に会います。小選挙区候補のみなさんと政府交渉したとき、厚労省は「ヘルパーに数が限られているので、援助の時間を短くした」と平気でいうのです。なぜヘルパーの数を増やすとやらないのでしょうか。日本共産党は社会保障を充実させ、雇用、暮らしを守るためにがんばります。

北海道の議席奪還でこそ“議席倍増”を！の呼びかけに、よしっ！の声と大きな拍手

「議席倍増を」と議席目標を決定した5中総後初の大型演説会。3会場で4000人を超す人が弁士の話に聞き入り、市田忠義書記局長、小池晃政策委員長、紙智子参議が5中総の内容で話すとともに、北海道で議席をかちとり、「議席倍増を」と訴えると“よしっ！”の声と大きな拍手で応えました。

“議席奪還を”のメッセージに大きな拍手

北海道職業訓練センター運営協議会会長から届いたメッセージは「いつまでも続く曇天の日本経済、その雲を吹きはらうことができるのは日本共産党です。何としても国政で活躍する人を北海道から送らなければなりません。ぜひ議席を奪還しようではありませんか」と呼びかけるものでした。会場から大きな拍手が起きました。

民主党旭川市議も“さすが”と

旭川会場に参加した民主党市議は、党太田市議のお誘いに「どうせ民主党の悪口を言うんだらう」と言っていました。聞いた後で「さすが国会に行こうとする人たちですね、良い話でした」と感想を述べていたと言います。



ユーモア交えて語る小池晃政策委員長



参加者の激励に応えるはたやま候補と小選挙区候補



国会情勢を報告し議席奪還を訴える紙智子参議



北見会場で激励に応えるはたやま、菅原候補

感想から

○演説会参加をどうしようかと迷っていたが、やはり参加してよかった。市田さんの話はわかりやすく心にストンとおちる内容でした。日本共産党の躍進のために頑張ります。

○初めての参加でした。大変参考になりました。消費税は大変なことです。共産党の力でなくしていただきたい。微力ですが選挙の協力をしたいと思います。

○大変わかりやすい話でした。国民に目を向けた提案には心から大賛成です。いまの政治を変える必要性をひしひしと感じます。

○原発ゼロに希望をもつことができた。共産党がこんなにも頼もしいとは知らなかった。希望勇気をもらったので明日から元気に頑張ります。

「今すぐ原発ゼロへ！」

11・11 いっせい行動を成功させよう

11・11 全国いっせい総行動に呼応して、国民大運動実行委員会などが中心になって、道内各地で宣伝や集会、パレードなどが行われます。参加して成功させよう。